

滋賀県の地震

令和4年(2022年)9月

目次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	1
(2)概況	1
(3)断面図	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	3

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	4
(2)概況	4

3 地震一口メモ

11月2日に緊急地震速報の訓練を行います

ー 緊急地震速報を見聞きした際の行動訓練ー	5
-----------------------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。

本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」をお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

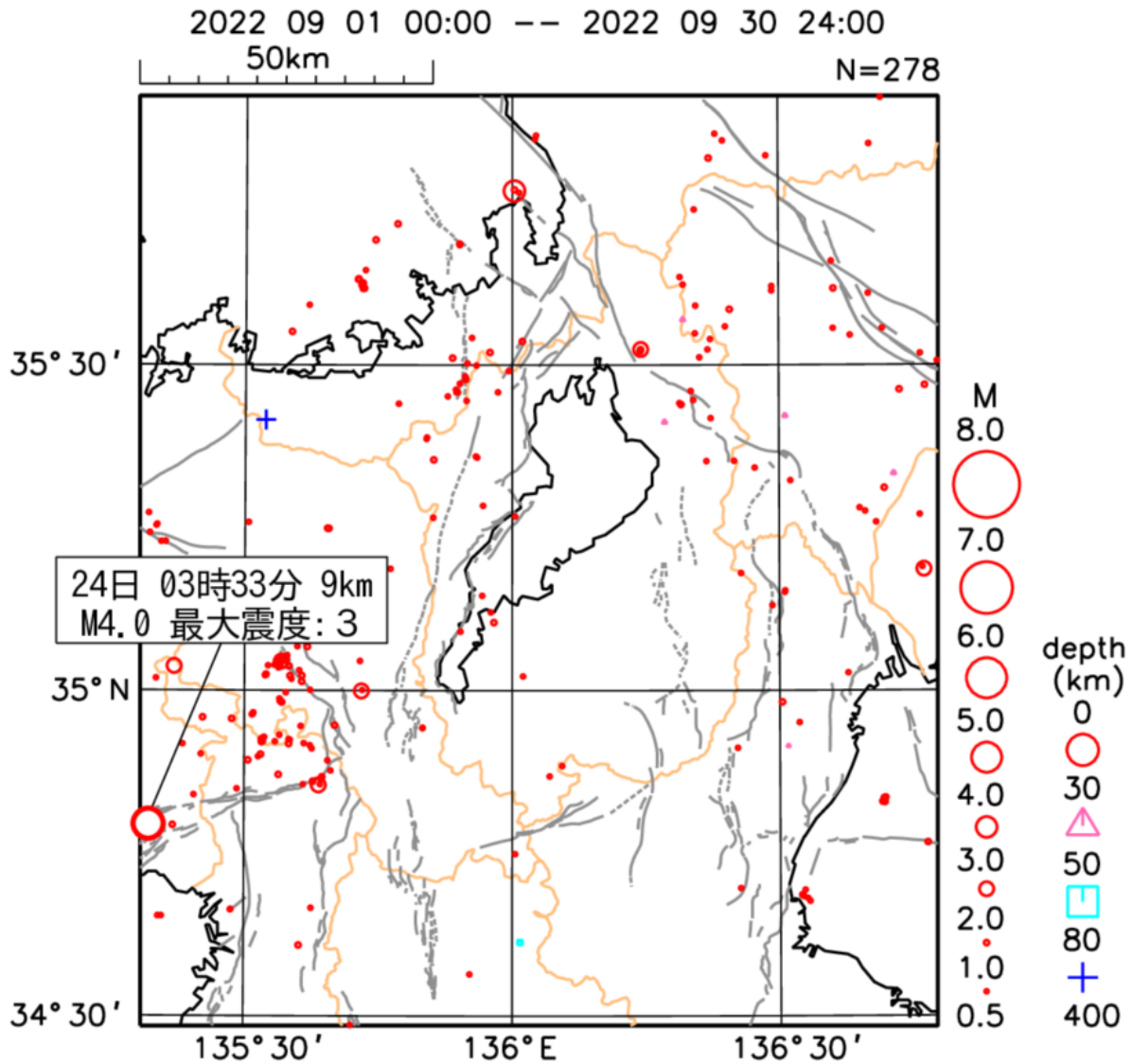
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和4年9月)

(1) 震央分布図



震央分布図は、地図上に地震の震央を表示したもので、地震の活動を示すものです。

シンボルマークの位置により「緯度、経度」、大きさにより「地震の規模(マグニチュード)」、形状により「震源の深さ(km)」を表現しています。マグニチュード(M)とシンボルマークの大小、震源の深さ(depth)とシンボルマークの形状の対応は震央分布図の右側の凡例のとおりです。

図中の折線は、地震調査研究推進本部による主要な断層帯の概略位置です。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表す。

滋賀県で震度1以上を観測した地震には、日時・マグニチュード・最大震度を付記しています(最大震度はその地震で観測された最も大きな震度で、滋賀県内の最大震度とは限りません)。

震央地名は経緯度の格子で区切っているため、県境付近では行政区画の境界と正確に一致しないことがあります。

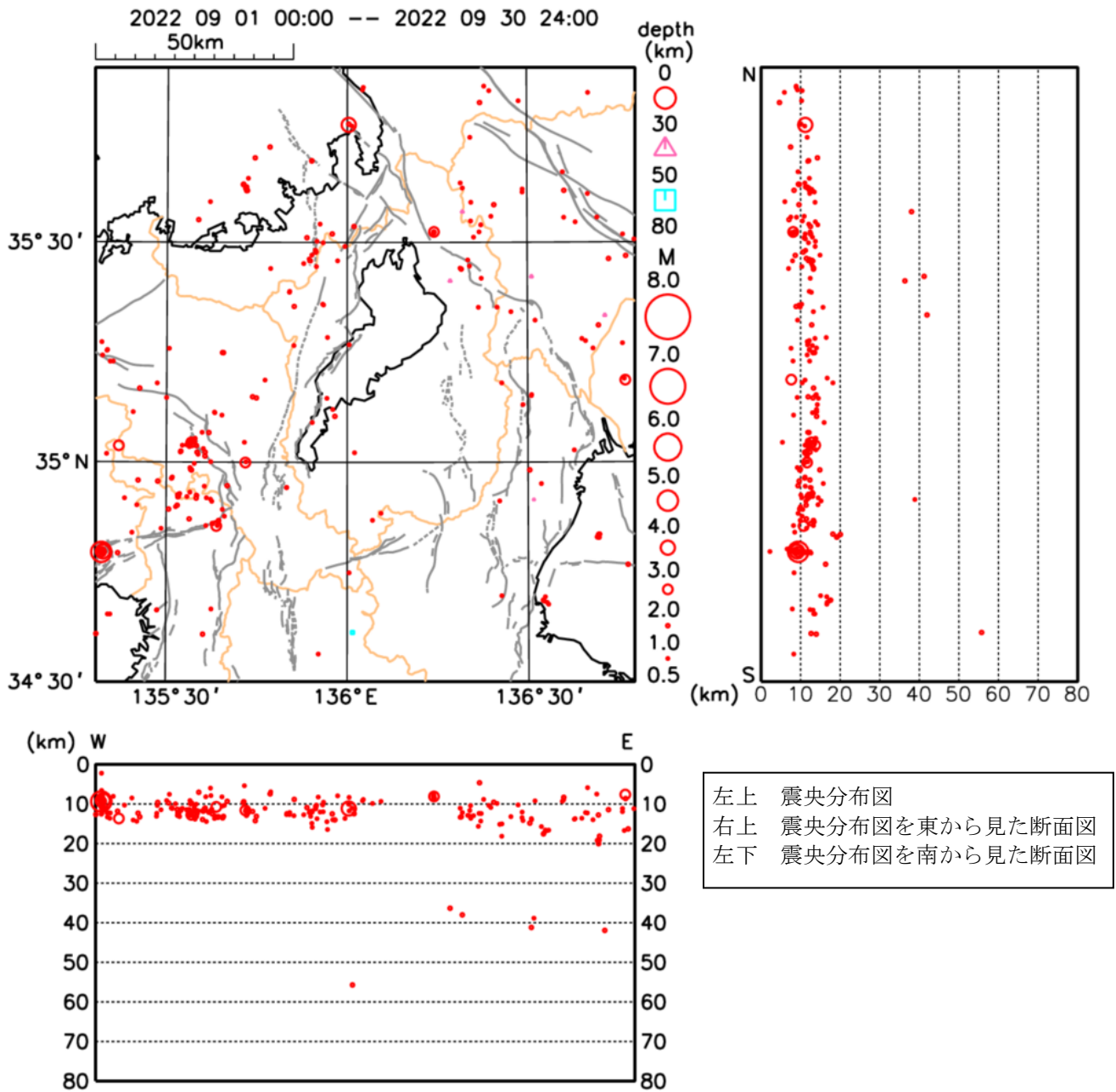
(2) 概況

9月に震央分布図内で震源決定できたM2.0以上の地震は11回(前月13回)でした。滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした(前月2回)。

滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は、以下のとおりです。

24日03時33分 兵庫県南東部の地震(M4.0): 米原市、大津市、近江八幡市、草津市、栗東市、湖南市、甲賀市、東近江市、竜王町で震度1

(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（滋賀県内のみ掲載）					

2022年09月24日03時33分 兵庫県南東部 34°47.6' N 135°19.3' E 9km M4.0

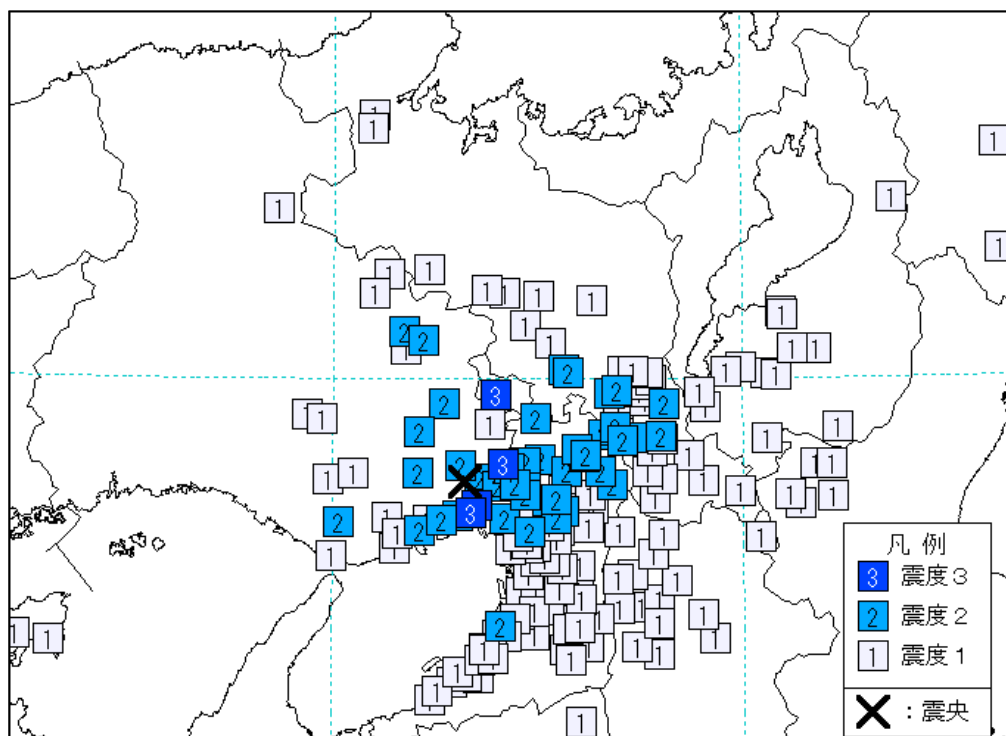
----- 地点震度 -----

滋賀県 震度 1：米原市長岡＊, 大津市国分＊, 大津市南郷＊, **近江八幡市桜宮町**, 近江八幡市出町＊
草津市草津＊, 栗東市安養寺＊, 竜王町小口＊, 湖南市中央森北公園＊
湖南市石部中央西庁舎＊, 甲賀市甲賀町大久保＊, 甲賀市信楽町＊
東近江市市子川原町＊

※ 太字の地点は気象庁の震度観測点、名称の末尾に＊がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布

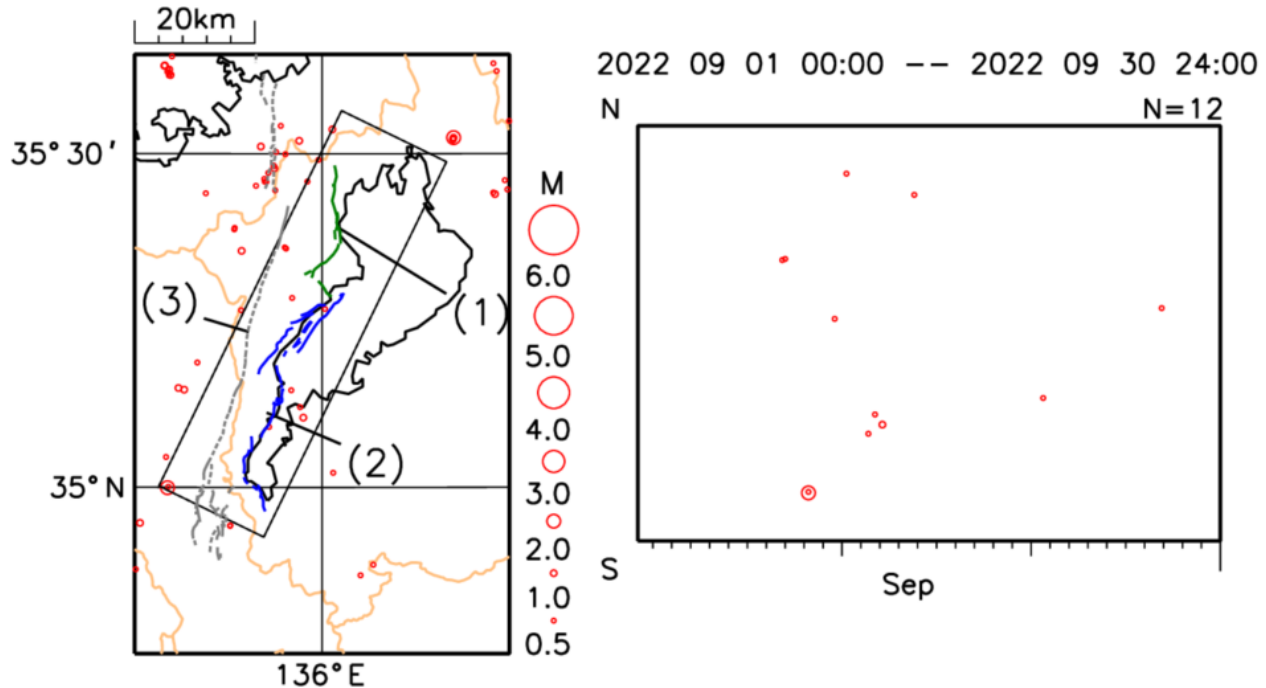
2022年9月24日03時33分 兵庫県南東部 (M4.0)



各観測点の震度分布図(×印は震央位置)

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和4年9月)

(1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ 30km までの地震)



(上) 震央分布図

深さ 30km 以浅の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度（実線部＞破線部）を表す。

- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸（縦軸）に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図（規模別）

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市（旧マキノ町）から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約 59km で、北北東－南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の 2 つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が 1 つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部では M7.1 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率は 1～3% と推定されます。

断層帯南部では M7.5 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ 0% と推定されます。

（地震調査研究推進本部の長期評価（2009）による。ただし、地震発生確率の算定基準日は 2022 年 1 月 1 日。）

(2) 概況

9 月に震央分布図中の矩形領域内で観測された M2.0 以上の地震は 1 回（前月 3 回）で、同領域内の地震で、震度 1 以上の揺れは観測されませんでした。

3 地震一口メモ

11 月 2 日に緊急地震速報の訓練を行います ー 緊急地震速報を見聞きした際の行動訓練ー

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。
内閣府、消防庁、気象庁では、国の機関、都道府県、市区町村と連携して 11 月 2 日(水)に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。
緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

訓練は 11 月 2 日(水) 10 時 00 分頃を予定していますが、気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合があります。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

当日は自治体の防災行政無線や行政機関等の建物で訓練用の放送が流れる場合がありますので、その放送が聞こえたら身を守る行動をとってみませんか。

また、気象庁 HP で公開している訓練用動画や NTT ドコモ提供のスマートフォンアプリ「地震防災訓練アプリ」を使用して訓練に参加することも出来ます。

なお、訓練告知の資料中には 11 月 5 日が「津波防災の日」となっていますが、これは平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震による津波被害を受けて制定された、「津波対策の推進に関する法律」で決められており、気象庁でも毎年この時期に緊急地震速報の訓練を実施しています。

11月2日(水)は 緊急地震速報の訓練に 参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに
身を守る行動ができるようにしましょう

- 令和 4 年 11 月 2 日(水) 10 時 00 分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。
- ※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のコミュニティFM等を除く)
- 普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!

どうやって訓練に参加するの?

- お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁のホームページ等でご確認ください。
- 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方
 - ご契約の事業者から配信される訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。
- 受信端末をお持ちでない方
 - 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。

緊急地震速報を聞いた時、どうすればいいの?

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

頭を守って、安全な場所に避難!

危ない場所から離れて!

お店では、あわてず
係員の指示に従って!

シェイクアウト訓練

シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動 1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。
当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。

気象庁マスコットキャラクター「はるるん」シェイクアウトキャラクター「シェイクアウト」

1) 訓練用の緊急地震速報の配信の有無については、ご契約の事業者等の周知・案内等をご確認ください。
(訓練用の緊急地震速報を配信する予定の事業者名は、気象庁のホームページにも掲載予定です。)
2) 都道府県単位は、訓練用の緊急地震速報を受信した際の端末の動作等についてご確認ください。
3) 緊急地震速報訓練用動画や訓練の詳細については、気象庁のホームページをご覧ください。
4) 株式会社NTTコミュニケーションズは各社のスマートフォンで利用可能です。(一部ご利用できない機種もあります。)
詳細については株式会社NTTコミュニケーションズのホームページをご覧ください。

詳しくは「緊急地震速報 訓練」で検索、または二次元バーコードから

気象庁の
ホームページも
見てね!

緊急地震速報 訓練

【お問い合わせ先】
気象庁 地震・火山部 地震津波監視課 地震津波防災推進室
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3丁目8番9号 電話: (03) 6758-3900 (内線5158)

詳細は気象庁 HP をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>